

ピリオドスコア 準々決勝

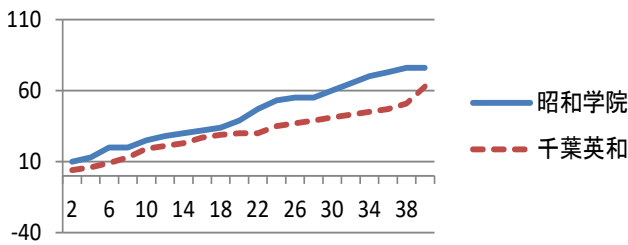
2018/6/22

No		T-n		チーム名		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A1	A1a	267	女	拓大紅陵		8	6	12	22		48
	A1b	282		千葉経大附	◎	19	20	23	19		81
B1	B1a	242	女	市立柏	◎	25	23	24	23		95
	B1b	261		木更津総合	○	10	14	18	19		61
A2	A2a	201	女	昭和学院	◎	23	13	28	28		92
	A2b	212		幕張総合		14	11	5	23		53
B2	B2a	222	女	市立船橋	○	11	11	15	12		49
	B2b	241		千葉英和	◎	13	16	27	19		75
A3	A3a	101	男	日体大柏	◎	26	31	22	18		97
	A3b	121		鎌ヶ谷	○	11	21	10	22		64
B3	B3a	122	男	東海大浦安	○	17	20	19	24		80
	B3b	141		幕張総合	◎	25	25	15	23		88
A4	A4a	162	男	市立柏	○	18	23	7	7		55
	A4b	182		八千代松陰	◎	18	15	14	28		75
B4	B4a	142	男	市立船橋	◎	28	21	29	18		96
	B4b	161		八千代	○	16	15	18	19		68

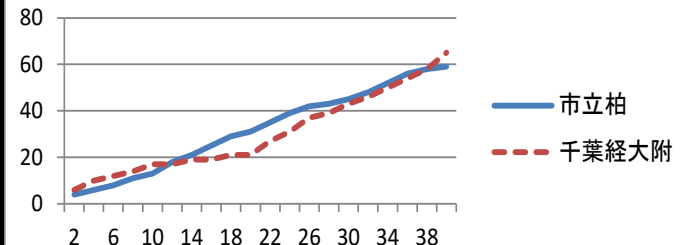
ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その1

2018/6/22

Game			Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game			Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A5	201	女	昭和学院	◎	25	14	21	16		76	B5	242	女	市立柏	◎	13	18	14	14		59
	241		千葉英和	◎	19	11	11	22		63		282		千葉経大附	◎	17	4	22	22		65

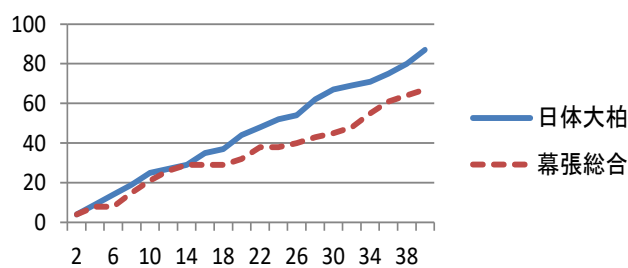


第1Q、昭和学院はハーフコートマンツーマン、千葉英和はオールコートゾーンディフェンスで試合開始。立ち上がり、昭和学院はゾーンの隙をついて速攻からリズム良く得点を重ねていく。第2Qも引き続きゾーンディフェンスの千葉英和は徐々にディフェンスから流れを作っていく39-30で前半終了。後半開始早々、昭和学院は#6を中心に連続で得点を重ね一気に突き放す。その後も終始昭和学院が堅い守りで主導権を譲らず、76-63で勝利した。

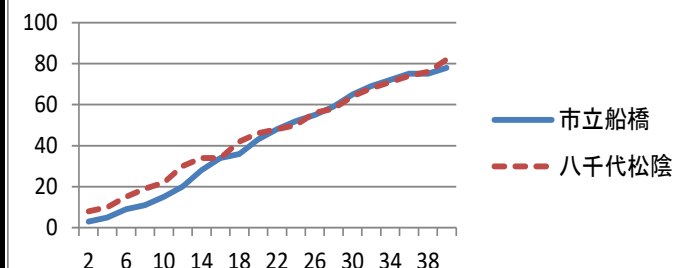


第1Q、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。全員がバランスよく得点する市立柏に対し、千葉経大附はインサイドを起点に得点を重ねる。第2Qに入り市立柏のディフェンスを前に4点しか取れない千葉経大附を尻目に市立柏はインサイド、アウトサイド、バランス良く点を取り31-21で前半終了。後半に入り、千葉経大附はディフェンスのプレッシャーを強め徐々に点差を縮めていく。拮抗した展開の中、千葉経大附#5が24秒ぎりぎり、この試合初めての3Pを決めて勝負あり。65-59で千葉経大附が勝利した。

Game			Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game			Team		1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A6	101	男	日体大柏	◎	25	19	23	20		87	B6	142	男	市立船橋	◎	15	28	22	13		78
	141		幕張総合	◎	21	11	13	22		67		182		八千代松陰	◎	22	24	18	18		82



柏日体、幕張総合ともにマンツーマンディフェンスでスタート。幕張総合は柏日体の#10ケイタを徹底してダブルチームで抑えにかかる。しかし、柏日体はオフェンスリバウンドをこごとく奪いリードを奪う。幕張総合も#7戸笈の連続3Pで食い下がるが第1Q25-21で柏日体がリード。第2Q幕張総合は柏日体の堅いディフェンスを打開できず、得点を奪うのが苦しくなる。柏日体が幕張総合を封じ込め4分間でノーゴール、10-0と流れをつかみ前半を44-32と12点差で終了する。後半に入っても柏日体のディフェンスは堅い。幕張総合は強固なディフェンスを攻めあぐね、じりじりと点差を広げられる。幕張総合はゾーンディフェンスなどで打開を図るも柏日体は落ち着いて試合を運ぶ。そのまま試合は87-67で柏日体が勝利。リーグ戦貴重な1勝を手にした。



先手を打ったのは八千代松陰。#5を中心にバランスよく得点を重ねていく。対する市立船橋は#7の3P、#5のインサイドで食らいついていく。第2Q、市立船橋がディフェンスをゾーンに変えると八千代松陰の足が止まり同点に追いつく。しかし八千代松陰もすかさず対応。再度リードを奪い43対46。八千代松陰リードで後半へ。第3Q、両チームとも高確率で3Pを決め、一進一退の攻防が続く。最後に市立船橋#5のブザービーターが決まり市立船橋が逆転。市立船橋が1点リードで勝負の最終Qへ。白熱したシーソーゲームとなった試合を制したのは八千代松陰。勝負どころで速攻が決まり、粘る市立船橋を振り切った。お互いが持ち味を出し合った好ゲームで勝利をつかんだ八千代松陰はインターハイ出場へ大きく前進した。